



鴨川市の医療・介護等と 長狭地区の状況



鴨川市のイメージキャラクター
「ななちゃん」「たいよう君」「まっつー」

平成27年11月12日

鴨川市 企画政策課
健康推進課

1. 地区の概況



	鴨川市	長狭地区	市全体に占める割合
【面積】	191.14km ²	53.92km ²	(28.2%)
【人口】	34,729人	4,794人	(13.8%)
【高齢者人口】	12,233人	2,019人	(16.5%)
【年少人口】	3,674人	413人	(11.2%)
【世帯数】	16,026世帯	2,145世帯	(13.4%)
【一世帯あたり人数】	2.17人	2.23人	—
【人口密度】	181.7人/km ²	88.9人/km ²	—

* 長狭地区の面積は、昭和30年10月1日現在の安房郡長狭町の面積
人口・世帯数は平成27年4月1日現在の住民基本台帳による

2. 鴨川市の特徴(医療・介護関連)

(1) 産業別就業割合

・第3次産業の25.6%が医療・福祉産業に就業(3,283人)

観光関連(宿泊・飲食サービス業)は16.8%(2,155人)

第1次産業 10.8%、第2次産業 14.0%、第3次産業 74.0% [平成22年国勢調査]

(2) 医療環境の充実

・人口10万人あたり病床数、医師数 ⇒ 県内54市町村中 **1位**

実数 病床数 1,605床 (内訳 病院1,558床、診療所47床)

医師数 390人 [平成24年千葉県衛生統計年報(医師歯科医師薬剤師調査)]

[平成25年千葉県衛生統計年報(医療施設調査・病院報告)]

・介護保険3施設の定員(病床)数に占める介護療養病床の割合

43.4%(※) ⇒ 県内54市町村中2位 [平成23年千葉県衛生統計年報]

実数 介護老人福祉施設 168人(※)、介護老人保健施設 100人

介護療養型医療施設 206床

※ H27.4.1 特別養護老人ホーム南小町の事業開始後の介護老人福祉施設定員数は228人で、介護療養病床の割合は38.6%となった。

(3) 高齢化率と要介護認定率等

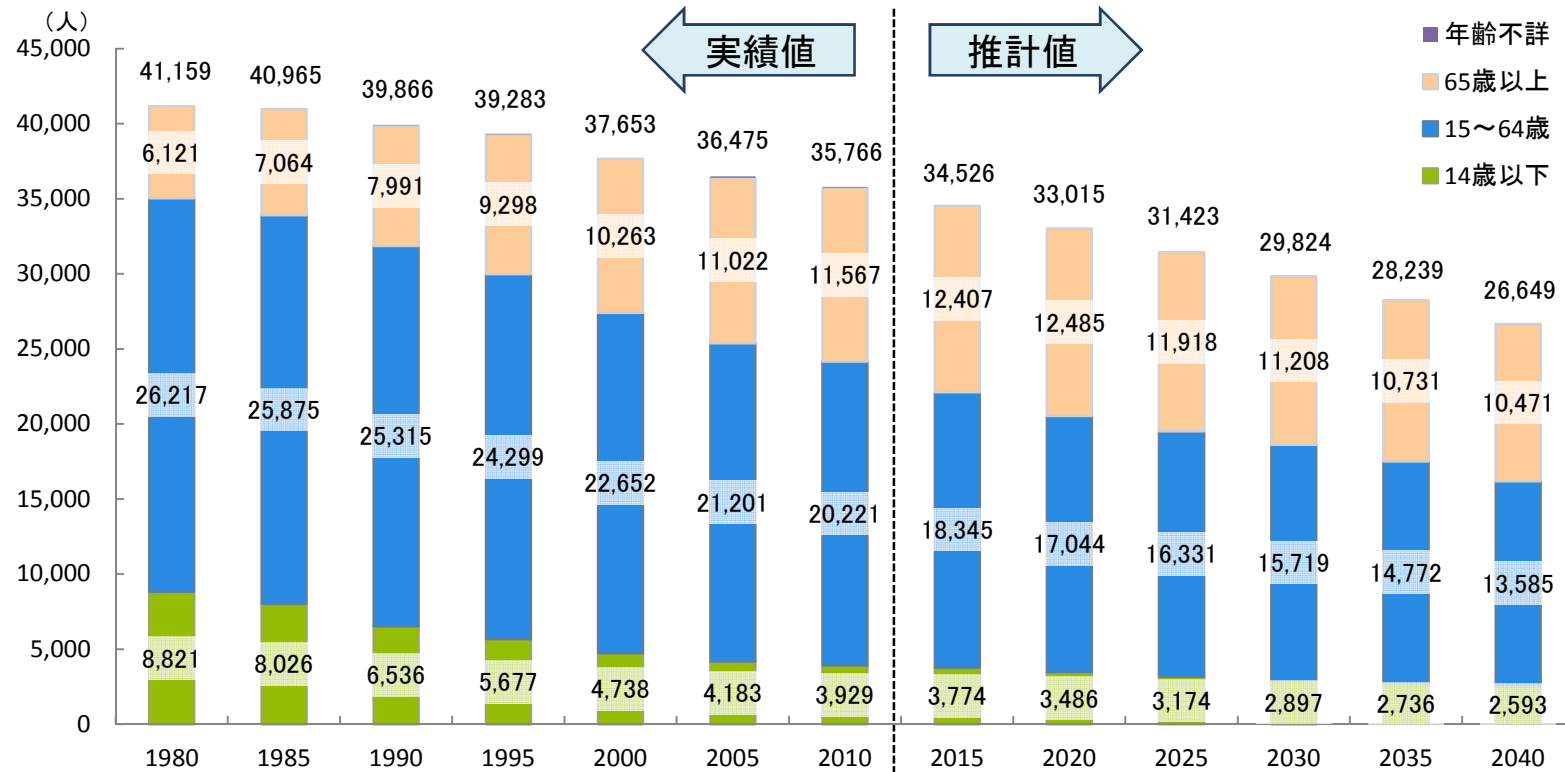
・高齢化率 35.2% ⇒ 県内54市町村中10位 ※H27.4.1現在

・要介護認定率 18.5% ⇒ 県内54市町村中 2位 ※H26.12末現在

・介護保険料月額基準額

(第6期) 5,895円 ⇒ 県内54市町村中 **最高額**

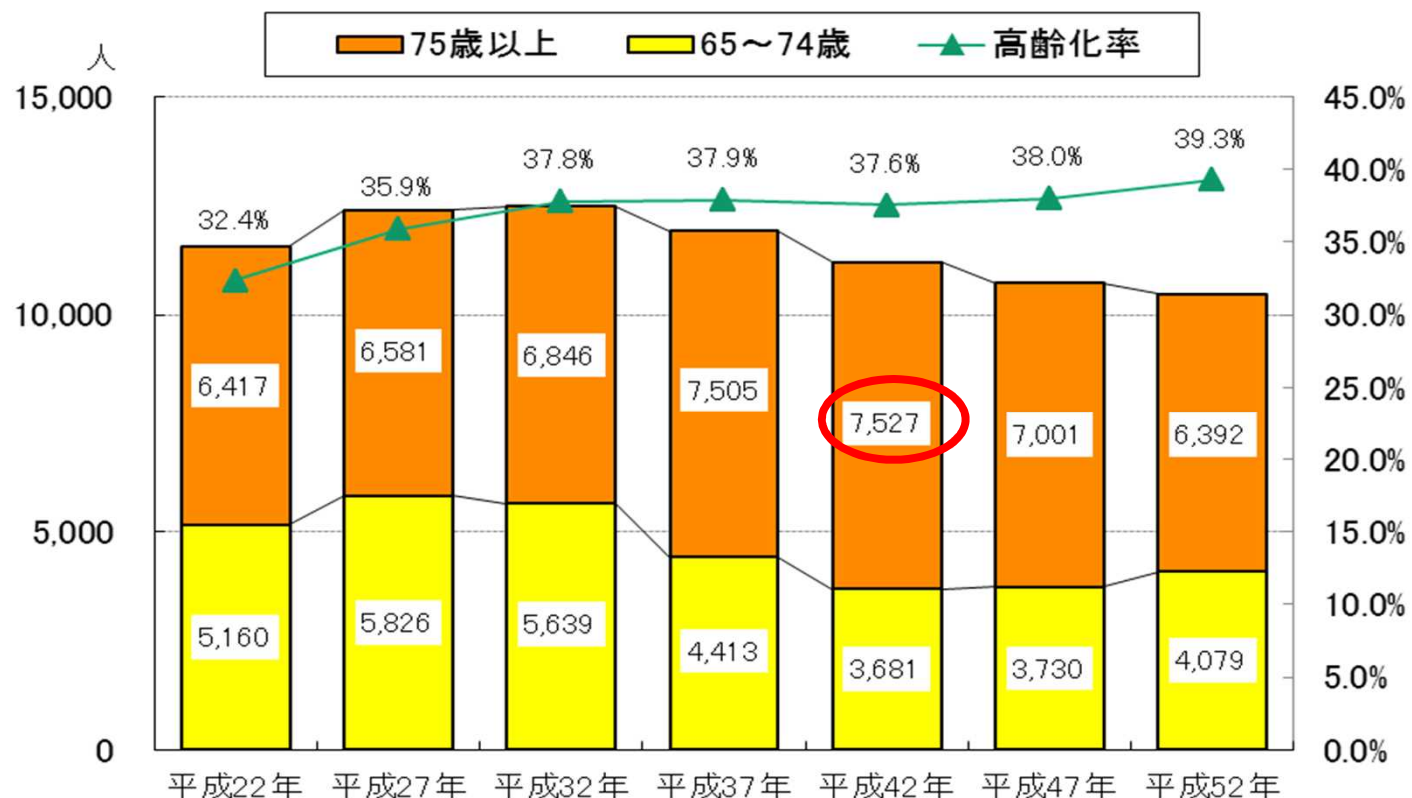
3-1. 人口の推移と長期的な見通し



資料: 国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所

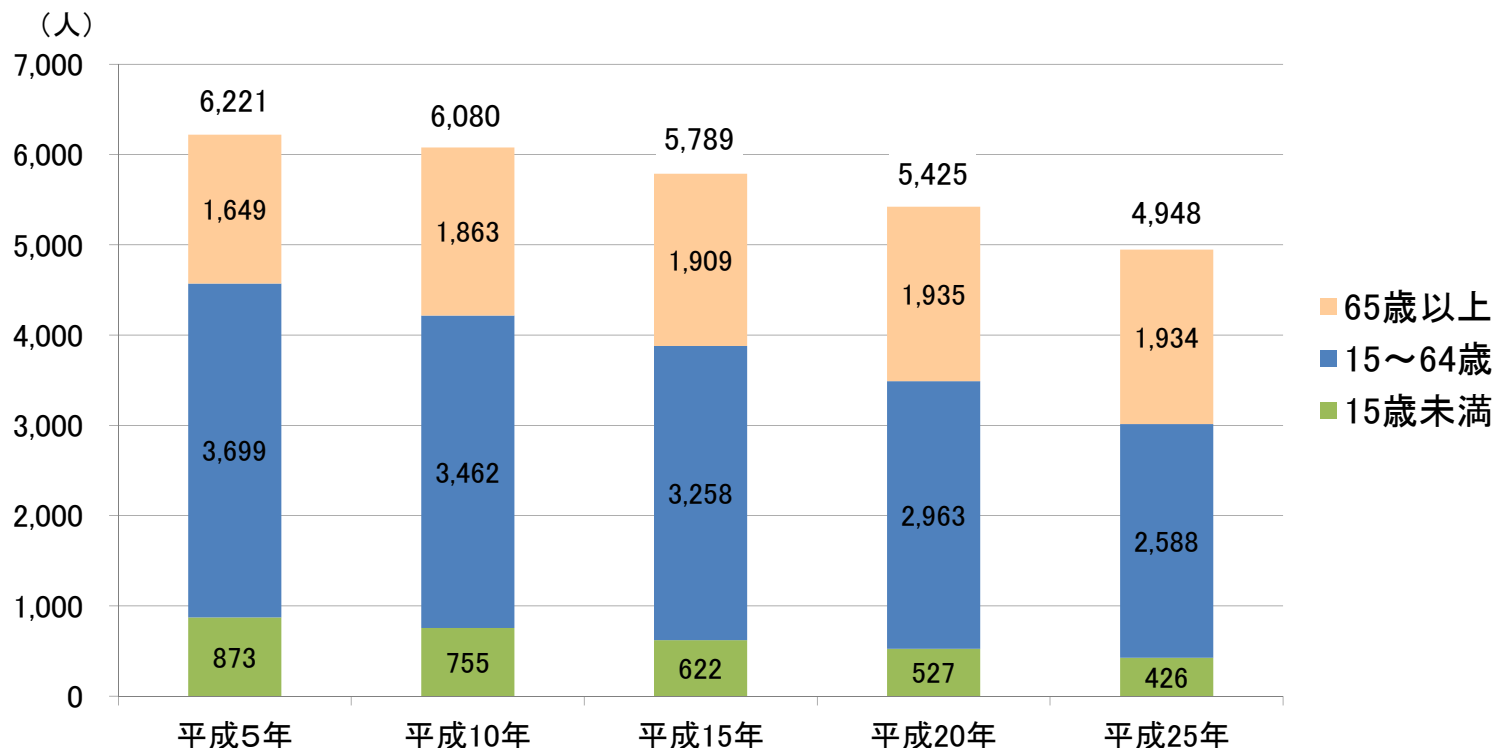
※2010(平成22)年 35,766人 → 2040(平成52)年 26,649人
 30年間で9,117人、25.5%減少。年齢3区分全てで減少の見通し

3-2. 高齢者人口の見通し



- ① 高齢者数のピークは2020（平成32）年の12,485人。
- ② 前期高齢者（65～74歳）数のピークは2015（平成27）年の5,826人で、以降は減少に転じた後、2030（平成42）年から2040（平成52）年にかけて再び増加する。
- ③ 後期高齢者（75歳以上）数のピークは2030（平成42）年の7,527人（人口比率25.2%）で、以降は減少に転じる。高齢者の医療・介護需要は、この前後でピークを迎えることが推測される。

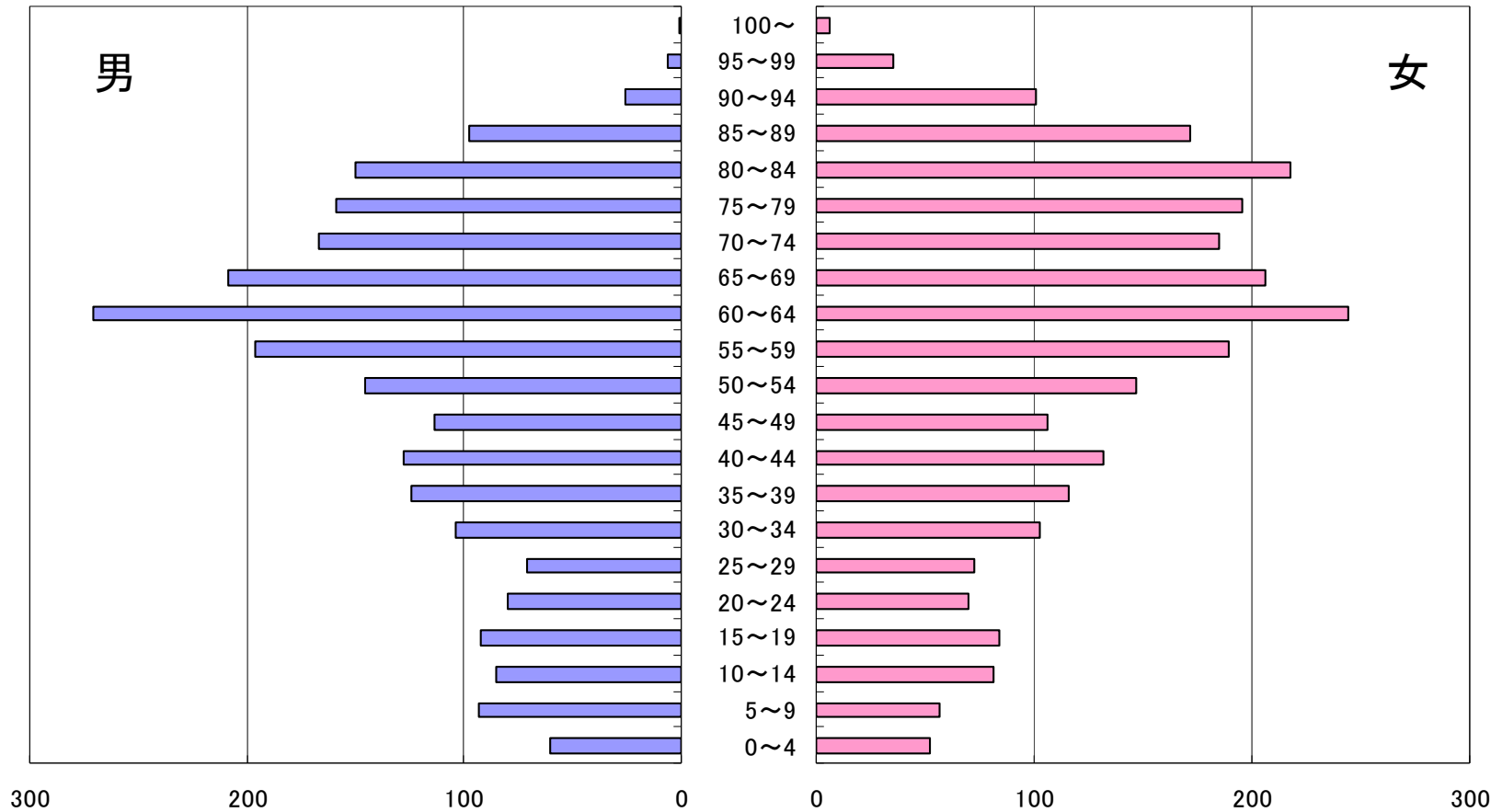
4-1. 人口、人口構成の推移(長狭地区)



- ① 人口総数は、平成5年から25年までの20年間で **1,273人減少(△20.5%)**
- ② **15歳未満の人口は447人減少**、比率はH25で8.6%(5.4%低下)
- ③ **15歳以上64歳未満人口は1,111人減少**、比率はH25で52.3%(7.2%低下)
- ④ **65歳以上人口は285人増加**、比率はH25で39.1%(12.6%上昇)

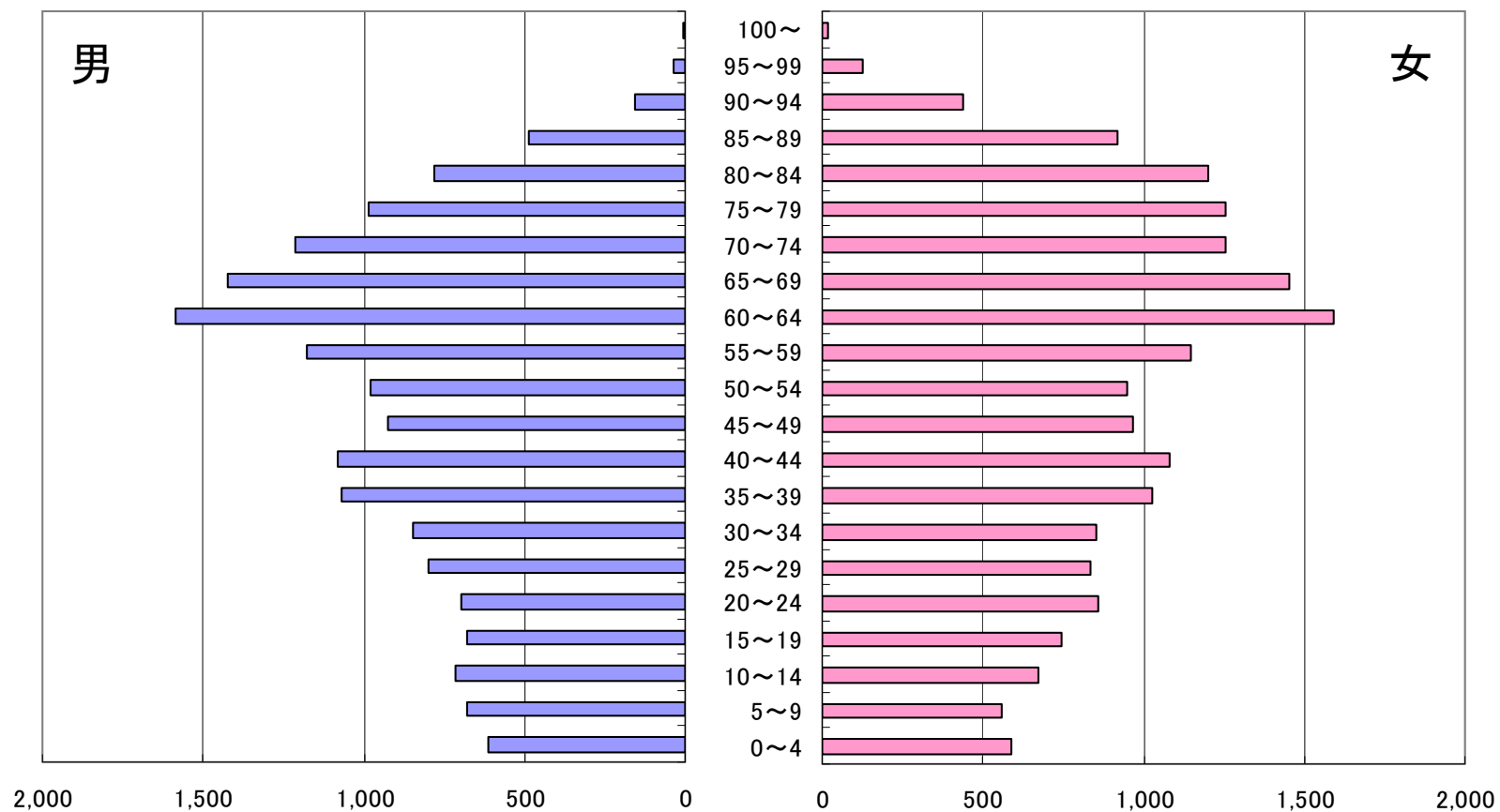
資料: 千葉県年齢別・町丁字別人口

4-2. 人口ピラミッド(長狭地区)



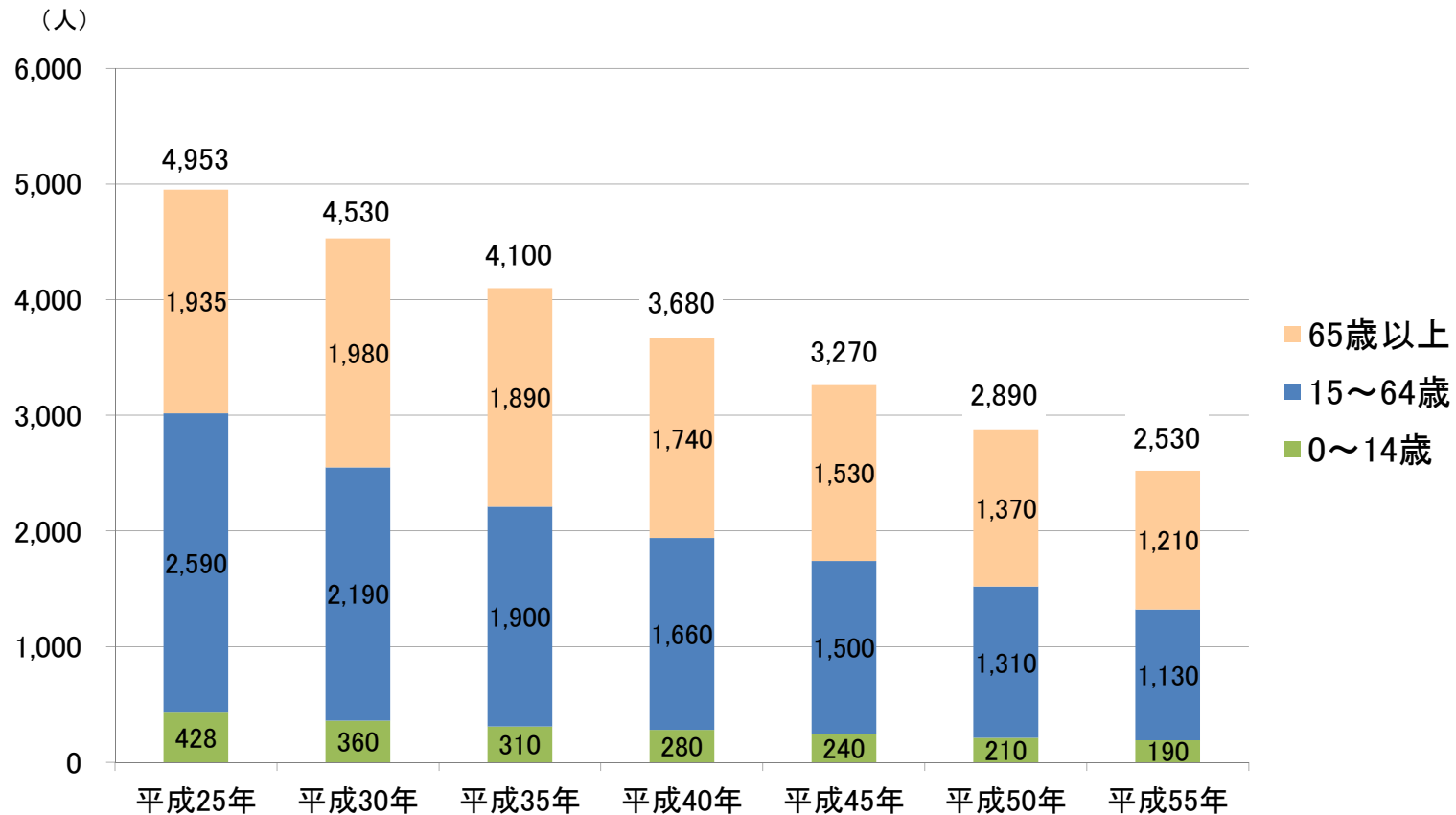
資料:住民基本台帳(平成25年4月1日現在)

(参考)人口ピラミッド(鴨川市)



資料:住民基本台帳(平成25年4月1日現在)

(参考)人口推計(長狭地区)



※コーホート変化率法に準じて推計

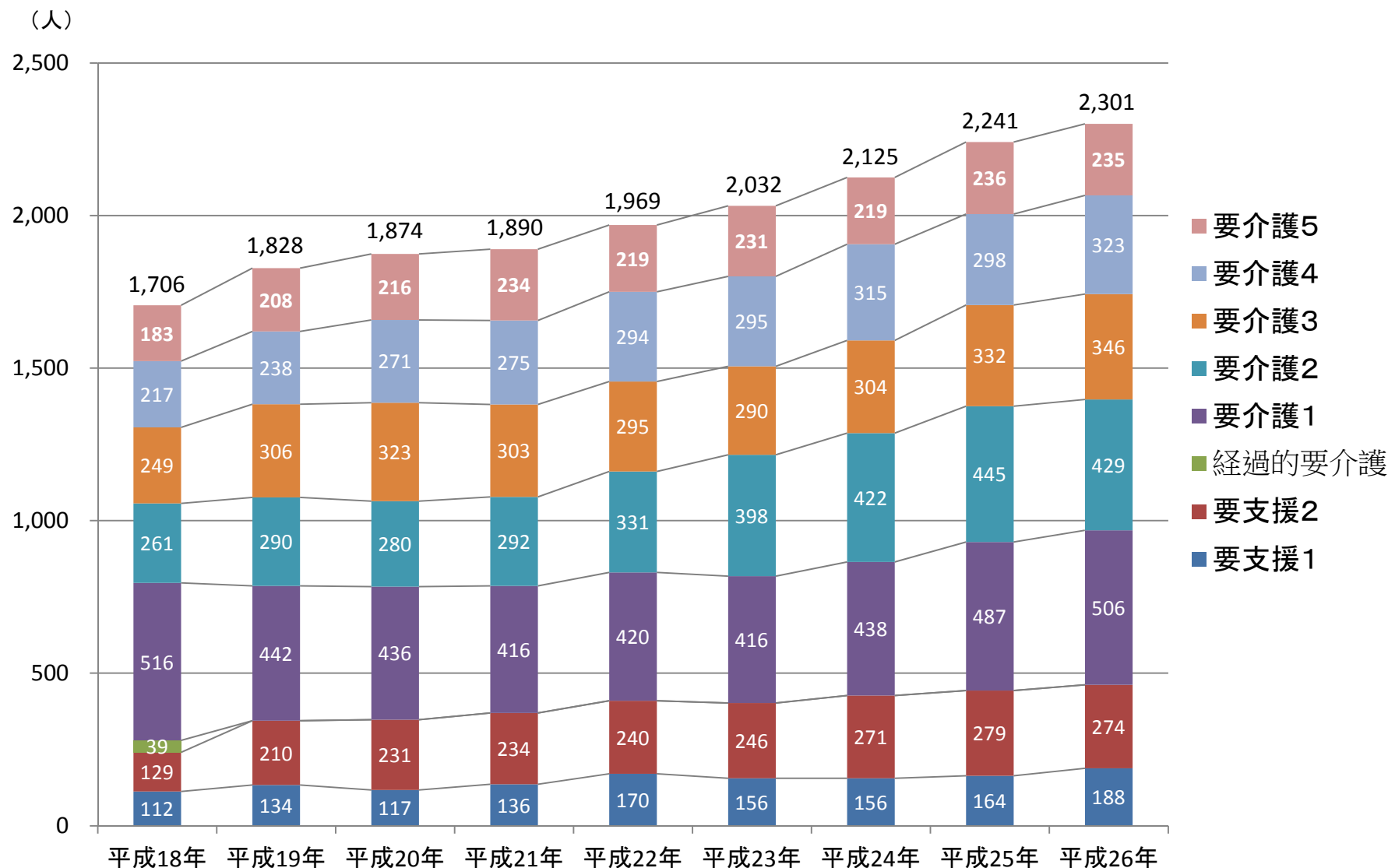
平成25年4月1日時点の長狭地区の各歳・男女別人口を起点とし、前後各2年を加えた5年間(平成23～27年)の住民基本台帳に基づいて算出した市全体の各歳・男女別人口の変化率(5年間平均)及び子ども女性比(15～49歳女性人口に対する男女別0歳児の割合・5年間平均)を用いて推計した。

5. 高齢者世帯の状況

	世帯数	高齢者 二人世帯	高齢者 単身世帯
鴨川市	16,026	1,988 (12.4%)	3,240 (20.2%)
長狭地区	2,145	336 (15.7%)	525 (24.5%)

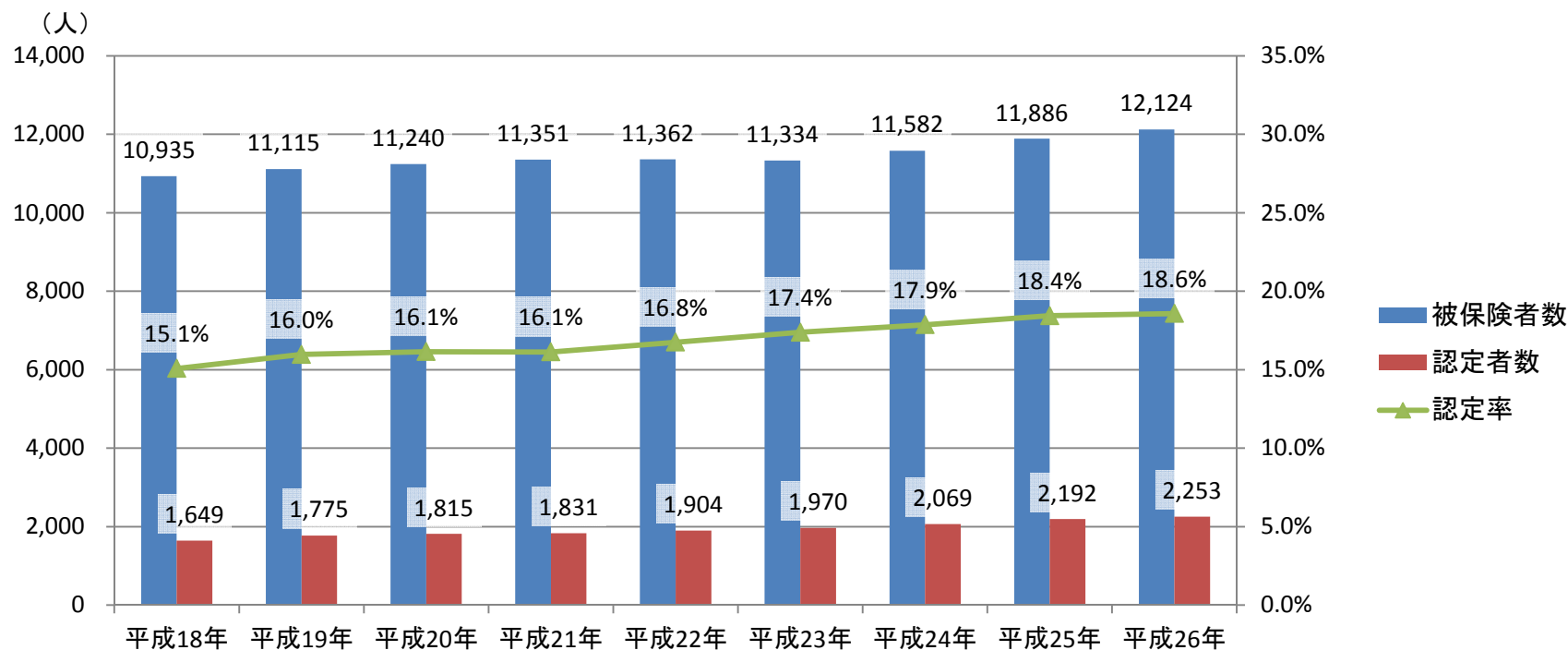
資料:住民基本台帳(平成27年4月1日現在)

6-1. 要介護(要支援)認定者数の推移



資料:介護保険事業状況報告(各年10月末日現在)

6-2. 要介護(要支援)認定者数、 認定率の推移(第1号被保険者)

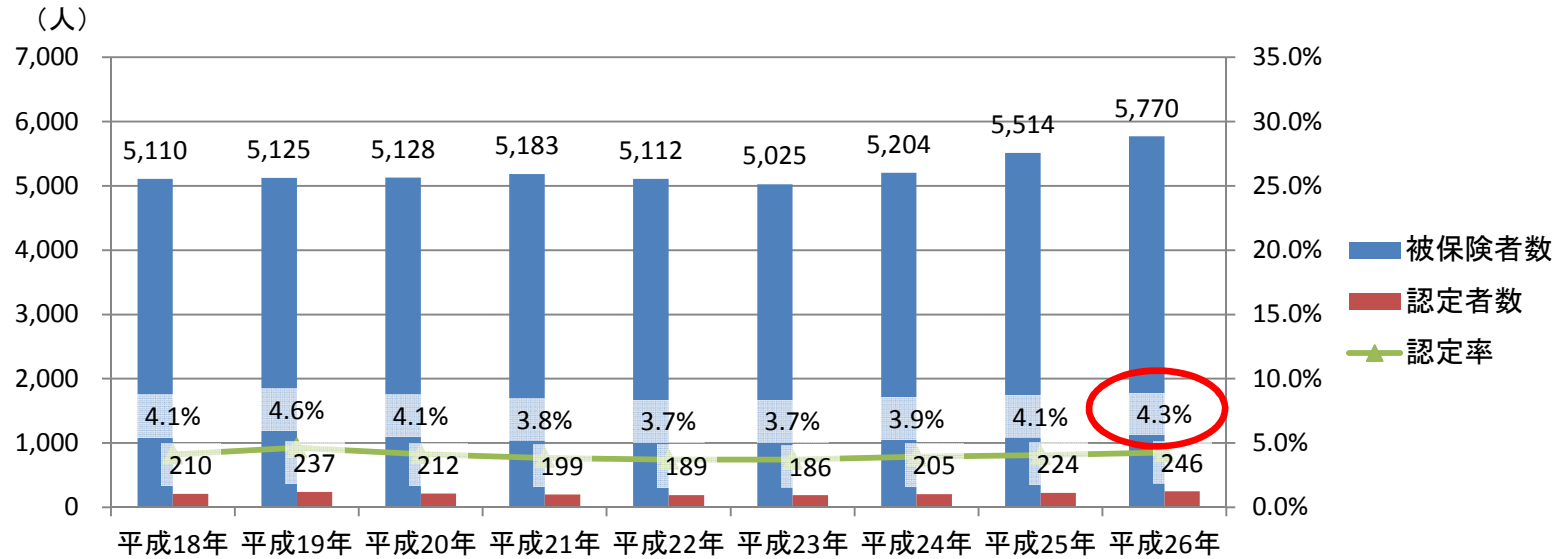


資料:介護保険事業状況報告(各年10月末日現在)

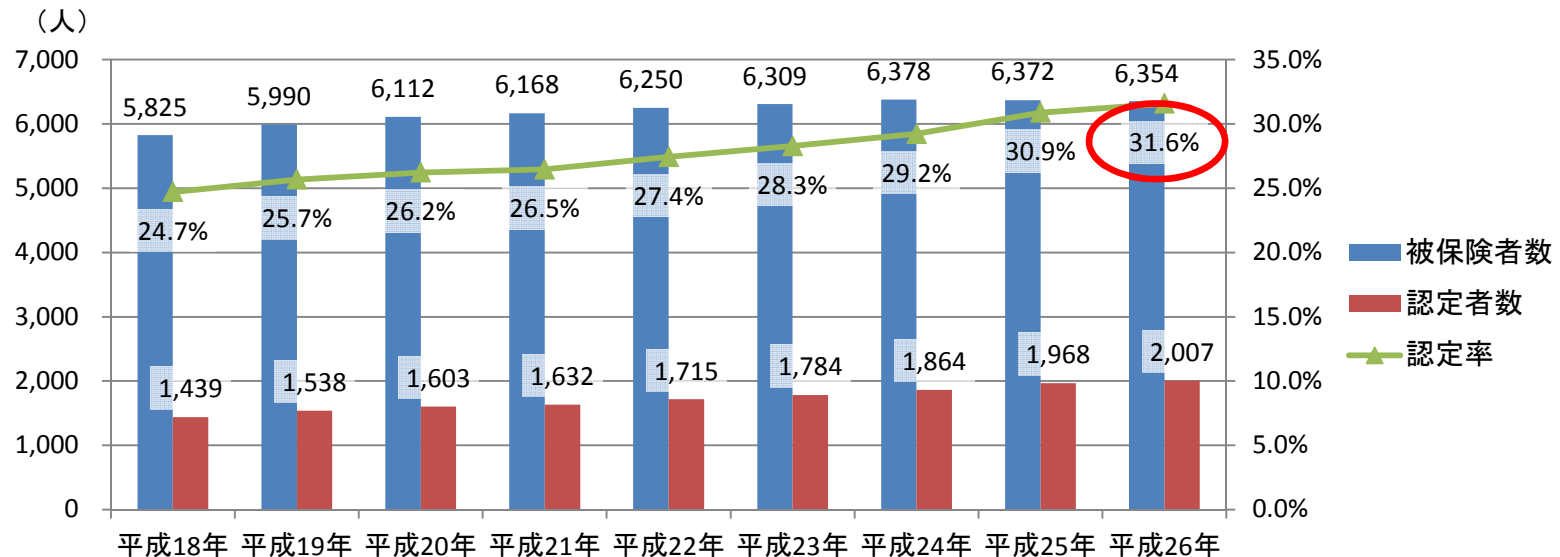
平成26年時点で第1号被保険者(65歳以上)数に占める

要介護(要支援)認定率は18.6%

●65歳以上75歳未満

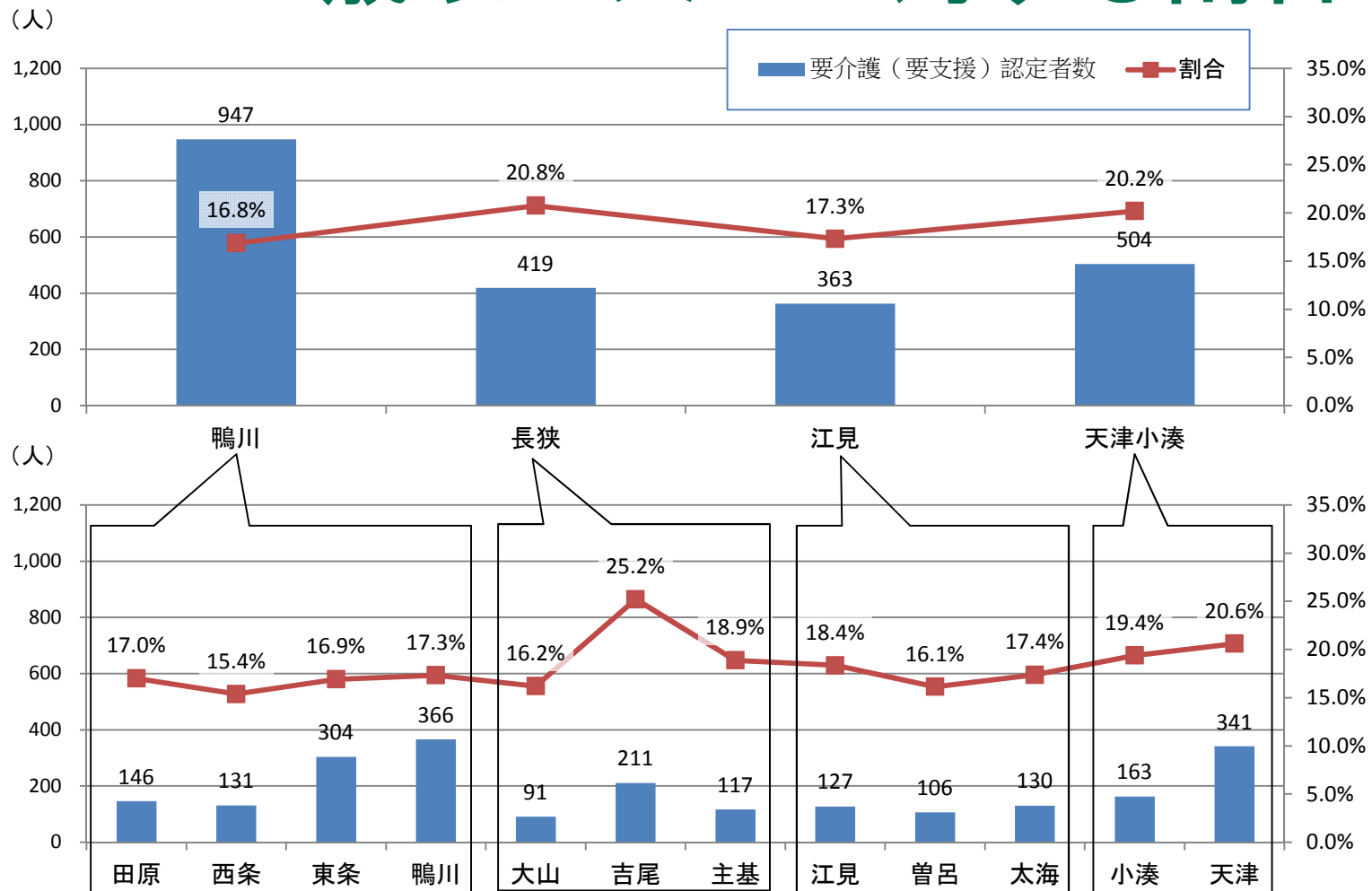


●75歳以上



資料:介護保険事業状況報告(各年10月末日現在)

6-3. 地区別要介護(要支援)認定者の65歳以上人口に対する割合



長狭地区の要介護等認定者の割合は20.8%

(特別養護老人ホームを除くと、長狭地区は18.4%、吉尾地区は19.6%)

6-4. 認知症の状況

●日常生活自立度別認定者数

地区	自立	I	中度～重度					M	II a 以上の 人数	II a 以上の 割合
			II a	II b	III a	III b	IV			
鴨川	306	169	102	131	109	40	76	12	470	49.7%
長狭	94	85	43	66	66	28	26	10	239	57.2%
大山	24	21	6	13	18	5	3	1	46	50.5%
吉尾	39	39	25	31	33	16	18	9	132	62.9%
主基	31	25	12	22	15	7	5	0	61	52.1%
江見	118	53	46	54	40	15	35	2	192	52.9%
天津小湊	168	113	43	66	56	9	45	4	223	44.2%
合計	686	420	234	317	271	92	182	28	1,124	50.4%

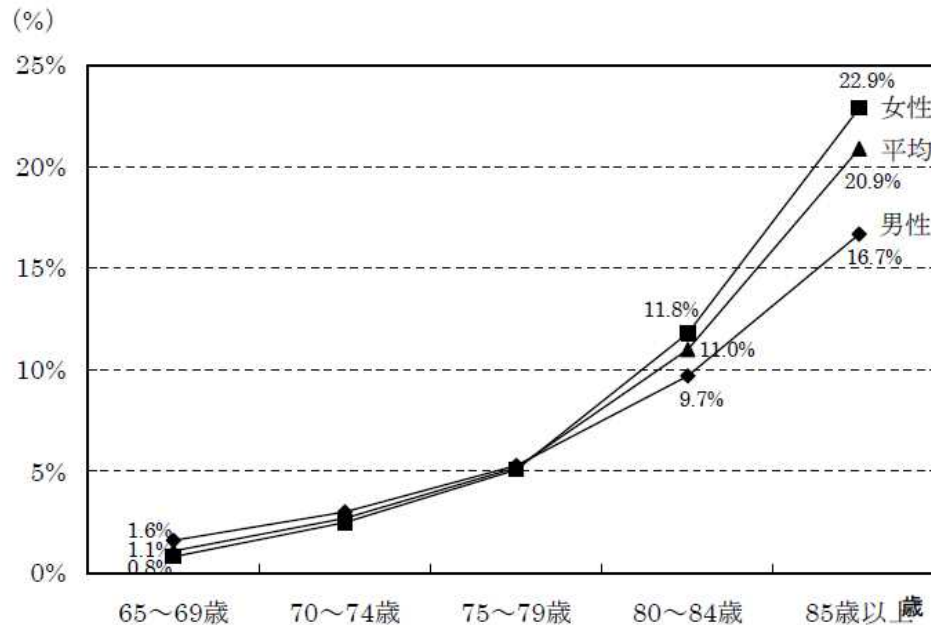
資料:健康推進課(平成27年3月末日現在)

※長狭地区の要介護等認定者のうち57.2%にII a以上の認知症症状がある。市全体では50.4%。

●日常生活自立度

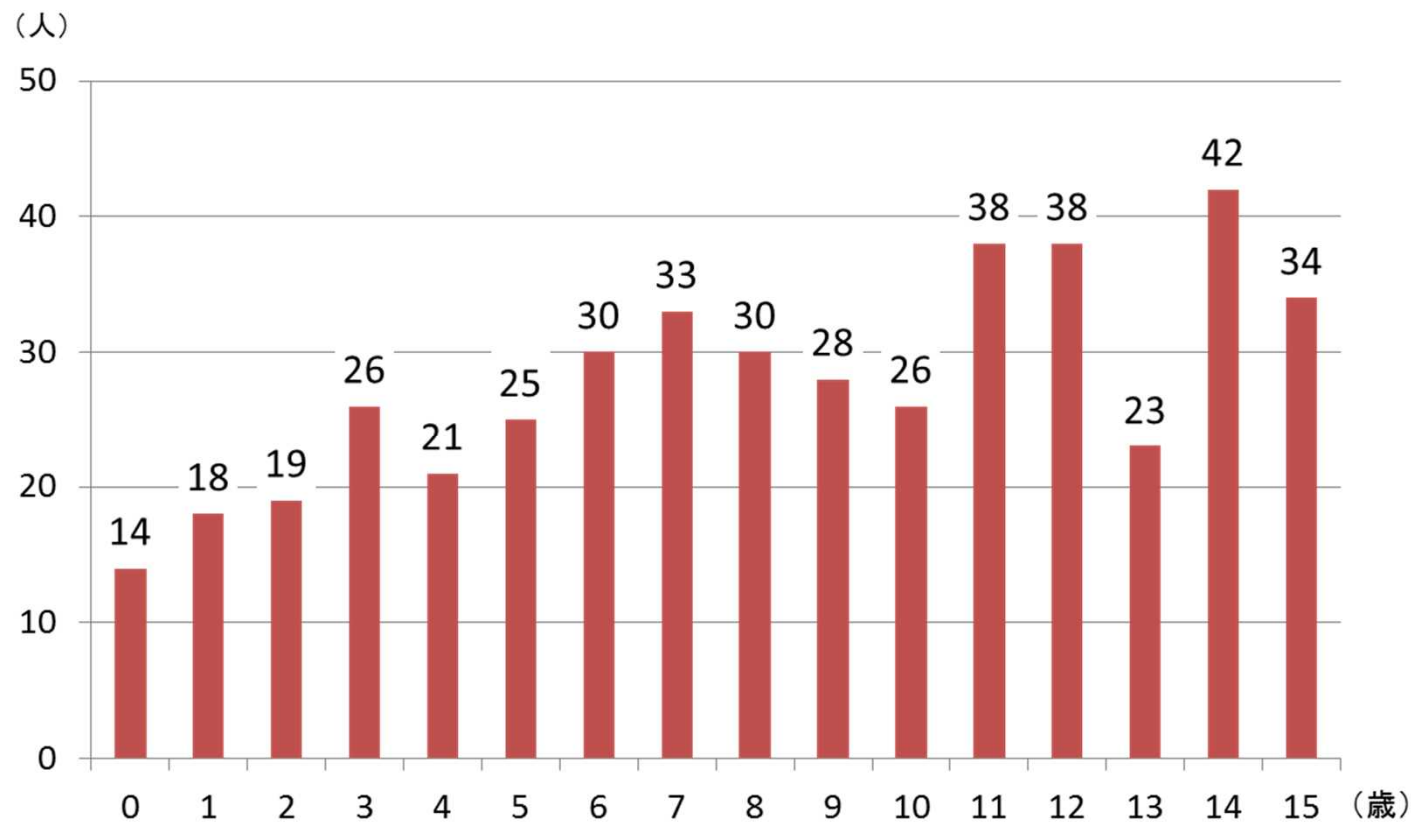
レベル	判断基準
I	「何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内および社会的にほぼ自立している状態」基本的には在宅で自立した生活が可能なレベルです。
II a	「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが家庭外で多少見られても、誰かが注意していれば自立できる状態」
II b	「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが家庭内で見られるようになるが、誰かが注意していれば自立できる状態」
III a	「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが主に日中を中心に見られ、介護を必要とする状態」
III b	判断基準「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが夜間にも見られるようになり、介護を必要とする状態」
IV	「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする状態」
M	「著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする状態」

●年代別認知症出現率(全国)



資料:厚生科学研究(平成3年度)による推計

7. 長狭地区における出生の動向 (各歳人口(15歳以下))



資料:住民基本台帳人口(平成27年1月1日現在)

8. 各種障害者手帳の交付者数

●障害者手帳交付者数(施設入所者を含む)

	知的障害	精神障害	身体障害	計
鴨川市	212人	122人	1,441人	1,775人
長狭地区 (市全体に 占める割合)	43 (20.3%)	19 (15.6%)	332 (23.0%)	394 (22.2%)

資料:福祉課(平成27年4月1日現在)

9. 長狭地区の課題と今後

● 高齢化による影響

・地区住民の介護・医療リスクの増大

→ 高齢者の介護予防、地区住民の生活習慣病予防

・高齢者の生活支援ニーズの増加

・コミュニティの機能の低下

→ コミュニティの機能を補完し、公的役割を担う人材の確保

● 日常的なささえあい体制づくりの推進

・ボランティアや、ボランティア団体の拡充

・保健・福祉・介護に関わる人材、団体の連携の強化 (地域包括ケア体制の構築)

